

(6) 配当政策の状況及び今後の考え方

三井住友フィナンシャルグループにおきましては、業務の再構築、リストラによる経費効率化、不良債権残高の削減や政策投資株式の圧縮によるバランスシートの改善等を早期に実現することで収益力を強化し、着実に内部留保を蓄積することにより、Tier資本の質・量ともに充実させることを第一義的方針としております。

配当につきましては、内部留保の蓄積を図るために、12年度の6円から、13年度：4円、14年度：3,000円(従来の普通株式1株当たり3円配当に相当)と減配してまいりました。今期につきましては、昨年度と同様、3,000円の配当とする予定であります。グループ収益力を早期に強化し、自己資本の充実に目処をつけた上で、株主重視の考え方に則った配当方針を展望してまいります。具体的には、経営健全化計画において当期利益が2年連続で黒字となる16年度以降、普通株式配当を1,000円/年と徐々に増配することを検討してまいります。